

2016年(平成28年)6月4日(土)

chunichi web I

[天気](#)
[ウーマン](#)
[環境](#)
[住まい](#)
[就職・転職](#)
[進学・教育](#)
[旅行](#)
[相談](#)
[囲碁・将棋](#)
[暮らし](#)
[地域のニュース](#)
[愛知](#)
[岐阜](#)
[三重](#)
[静岡](#)
[長野](#)
[福井](#)
[滋賀](#)
[石川](#)
[一面](#)
[社会](#)
[政治](#)
[経済](#)
[マーケット](#)
[国際](#)
[特報](#)
[スポーツ](#)
[特集・連載](#)
[トップ](#) > [中日新聞社から](#) > [表彰事業](#) > [中日文化賞](#) > [大栗博司氏](#)

中日文化賞

米カリフォルニア工科大学 フレッド・カブリ冠教授 大栗博司氏

2016年5月3日 朝刊から

素粒子論に現代数学を取り入れた最先端理論の開発 9次元の宇宙を探る

磁石の電磁力、地球の重力、原子核の中で働くミクロの力。すべてを例外なく説明する究極の理論づくりが物理学の大きな目標だ。その最前線で活躍する。

岐阜市で育った。小学生のころ家族で名古屋へ行くと、繁華街にあるビルの展望レストランで食事をするのが楽しみだった。地平線に愛知県犬山市が見えた。「犬山までは20キロぐらい」と父親が教えてくれた。

そのとき思い付いた。地平線までの距離とビルの高さが分かれば、地球の半径が出せるはず。ビルは「身長40メートルのウルトラマンより少し高い50メートル」と見積もった。学校で習った図形の性質を応用して計算すると半径8000キロと出た。実際の6400キロより少し大きいのが感激だった。「窓から見える風景だけで地球全体の大きさが導ける」。観察と理論の力に魅せられた。

いま理論の力で探るのは宇宙の真の姿だ。私たちが感じる世界は縦・横・高さの3次元空間。ところが究極の理論をつくるには宇宙は9次元でなければならないことが分かってきた。

残り6次元分の空間は、小さく折りたたまれて見えないと考えられているが、詳しく分かっていない。謎だらけの6次元空間の性質を調べるトポロジカル弦理論という方法を開拓した。

4月には、200年以上の歴史がある米国芸術科学アカデミーの会員に選ばれた。「6次元をどう折りたためば、9次元から私たちの3次元の世界が現れるのか明らかにしたい」

自宅は勤務先のあるパサデナだが、1年間の研究休暇中。ボストンのハーバード大に滞在し新しい刺激を受けて研究を進める。54歳。(科学部・永井理)



米カリフォルニア工科大学
フレッド・カブリ冠教授
大栗博司氏



新

動画ニュー



平壤で「2百
闘」決意集会

お知らせ

2017年4月入

名古屋本社・

「PTA新聞」・

投稿・ご意

「発言」への

ご質問・ご意

イベント情

大相撲名古屋

2016年7月11
入場券発売中

【PR】イラ

家づくり 家づ
マン
20
大学

勉強会 空き
各務
参加

作品 山車
募集 地域
写真